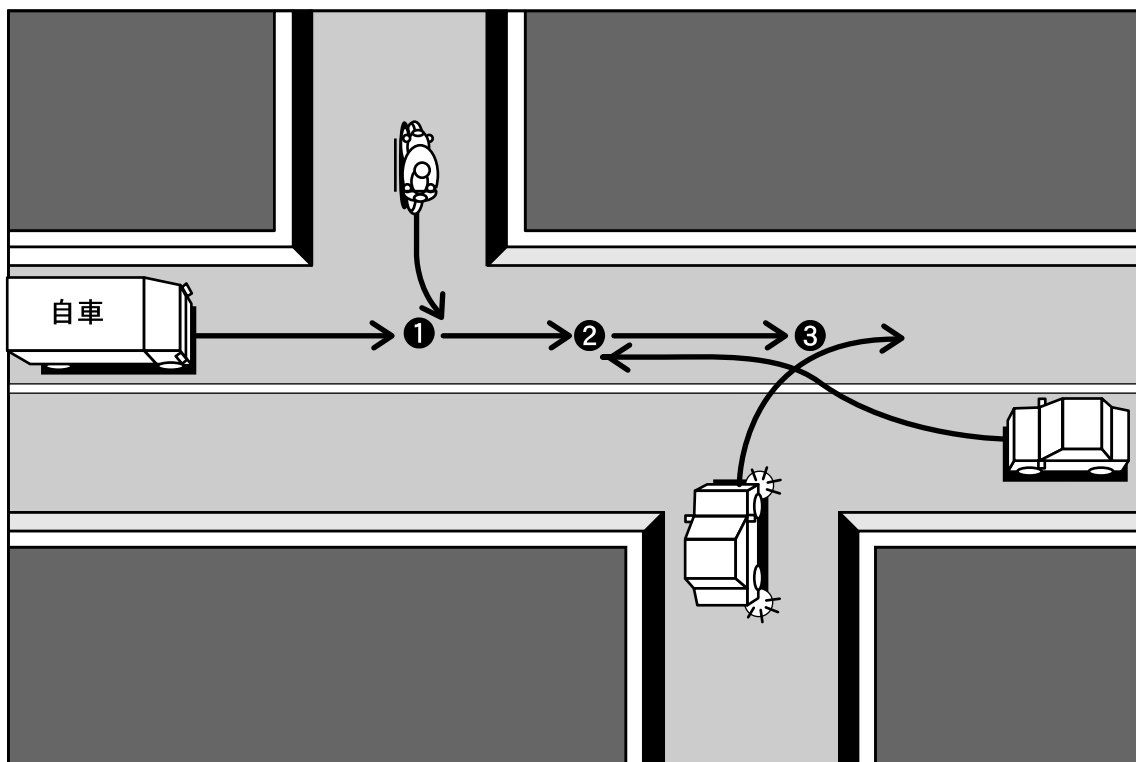


〔トラック 3〕 住宅街の走行



1. 主な危険要因の例

- ① 左側に脇道があり、そこから自転車等が飛び出してくると、衝突する危険がある。
- ② 右側の脇道から車が出ようとしており、これを避けるために対向車が右側にふくらんで、センターラインをはみ出すと衝突する危険がある。
- ③ 右側の脇道から車が出てくると、衝突する危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 見通しの悪い場所に接近したら、十分にスピードを落とす。
- ② ややセンターライン側を走行し、左側から出てくるかもしれない自転車の早めの発見に努める。
- ③ 右側の脇道から出ようとしている車や対向車の動きに注意しながら、スピードは落としたままで走行し、右側の脇道の車が出てきたときは先に行かせる。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 住宅街の見通しの悪い交差点などでは、自転車が飛び出してくることも多いので、その点をよく認識させるとともに、次のような自転車の行動特性について理解させる。
 - ・一時停止が必要な場所でも一時停止せずに飛び出してくる。
 - ・後方の確認もせず、合図もしないで急に進路変更してくる。
 - ・一方通行を逆行してくる。
- ② 脇道の多い住宅街を走行するときは、スピードを落とすとともに、脇道から車や自転車が出てこないかどうか十分に注意するよう指導する。